



**環境報告書 就活に役立てよう**

広告代理店「ニッセイエプロ」(東京都港区新橋)は7日午後4時半~同7時、企業の環境報告書やCSR報告書を就職活動に役立てようとする大学生向けの説明会を開く。報告書から企業の環境配慮活動を読み解くポイントを学び、12月までに企業の報告書分析・評価してレポートにまとめる環境に関心の高い学生のネットワーク作りを役立てようとする狙いがある。参加無料。会場は同社会議室。大学名と氏名を書いて電子メール(ewr21@eblo.co.jp)で申し込み、問い合わせは同社(03-5733-5172)。

**◎さわやかな制服**

佐川急便(京都市)は夏、宅配便を集配するセーラーズドライブ1向けに、ひざ丈のハーフパンツ





**環境報告書 就活に役立てよう**

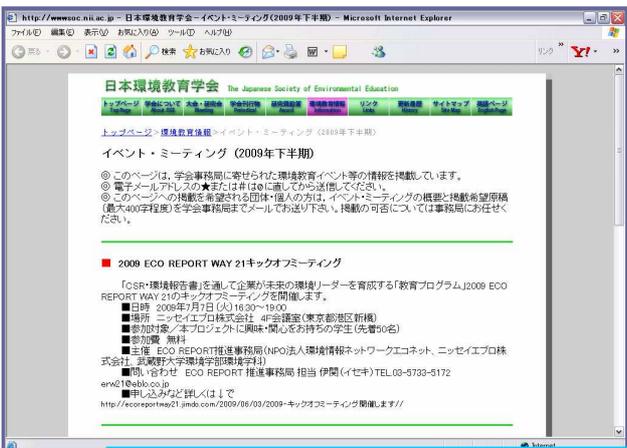
広告代理店「ニッセイエプロ」(東京都港区新橋)は7日午後4時半~同7時、企業の環境報告書やCSR報告書を就職活動に役立てようとする大学生向けの説明会を開く。

報告書から企業の環境配慮活動を読み解くポイントを学び、12月までに企業の報告書分析・評価してレポートにまとめる。環境に関心の高い学生のネットワーク作りを役立てようとする狙いもある。

参加無料。会場(同社会議室)。大学名と氏名を書いて電子メール(ewr21@eblo.co.jp)で申し込み、問い合わせは同社(03-5733-5172)。

(2009年7月7日 読売新聞)

▲2009.7.6 読売新聞 朝刊 15面記事(左)とWeb(YOMIURI ONLINE;右)より▲



**日本環境教育学会 The Japanese Society of Environmental Education**

イベント・ミーティング (2009年下半期)

◎このページは、学会事務局に寄せられた環境教育イベント等の情報を掲載しています。  
◎電子メールアドレスの★または#は、必ずしも正確に記述していません。  
◎このページへの掲載を希望される団体・個人の方は、イベント・ミーティングの概要と掲載希望原稿(最大4000文字)を学会事務局までメールで送付下さい。掲載可否については事務局から返信させていただきます。

■ 2009 ECO REPORT WAY 21キックオフミーティング

「CSR(環境報告書)を通して企業が未来の環境リーダーを育成する「教育プログラム」2009 ECO REPORT WAY 21のキックオフミーティングを開催します。

- 日時 2009年7月7日(火)16:30~19:00
- 場所 ニッセイエプロ株式会社 会議室(東京都港区新橋)
- 参加対象 本プロジェクトに興味・関心をお持ちの学生(先着50名)
- 参加費 無料
- 主催 ECO REPORT推進事務局(NPO法人環境情報ネットワークエコネット、ニッセイエプロ株式会社、武蔵野大学環境学部環境学科)
- 問い合わせ ECO REPORT 推進事務局 担当(伊藤) TEL:03-5733-5172 ewr21@eblo.co.jp
- 申し込みがまだ残っています http://ecoreportway21.jands.com/2009/06/03/2009-キックオフミーティング開催します//



**大学プレスセンター**

武蔵野大学環境学部環境学科が、NPO法人等と協働で、未来の環境リーダーを育成する教育プログラム「ECO REPORT WAY 21」キックオフミーティングを開催

武蔵野大学環境学部環境学科では、NPO法人「エコネット」ならびにニッセイエプロ株式会社と協働で、未来の環境リーダーを育成する教育プログラム「ECO REPORT WAY 21」を推進している。同プロジェクトは、このたびはさらなる進化と深化に向けて、キックオフミーティングを開催する。

未来の環境リーダー育成を目的とした環境教育プログラム「ECO REPORT WAY 21」は、次世代の社会を担う若者主体のCSR(環境報告書)を読み、企業に個人がアイデア提案するプロジェクトだ。

「ECO REPORT WAY 21」の推進を目的として、企業・個人・学生・市民・研究者・地域団体・学生団体の連携を軸として取り組む。その詳細は「環境報告書」を参考に、このプロジェクトの推進を目的とした環境教育プログラム「ECO REPORT WAY 21」の推進を目的として、企業・個人・学生・市民・研究者・地域団体・学生団体の連携を軸として取り組む。

▲ PR:日本環境教育学会(左) 大学プレスセンター(右)

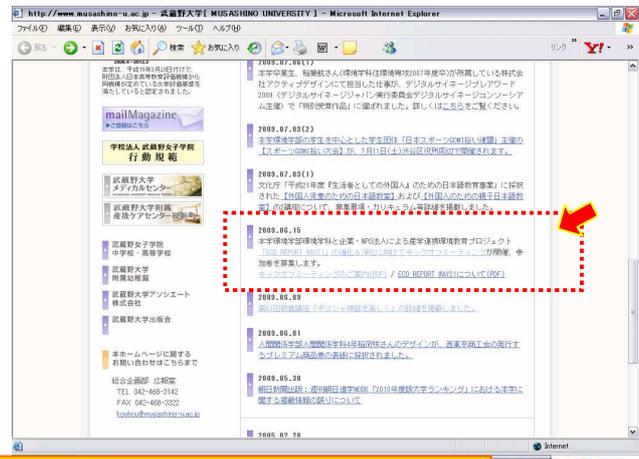


**環境 goo**

使えるシネマ ENGLISH

環境CSR報告書を通じて次世代の環境リーダーを育てる環境プロジェクトセミナー開催一参加学生大募集(無料)!

「ECO REPORT WAY 21」は、次世代の社会を担う若者(学生)たちが「CSR(環境報告書)を読み解く」という活動を通して、企業に個人がアイデア提案するプロジェクトです。このプロジェクトに参加する学生たちは、各自の企業で環境・CSR・環境報告書や環境報告書から読み解くポイントを学び、12月までに企業の報告書分析・評価してレポートにまとめる環境に関心の高い学生のネットワーク作りを役立てようとする狙いがある。



**武蔵野大学 MUSASHINO UNIVERSITY**

2009.07.07(火) 学生団体「環境報告書」を読み解く「ECO REPORT WAY 21」の推進を目的として、企業・個人・学生・市民・研究者・地域団体・学生団体の連携を軸として取り組む。

2009.07.03(土) 武蔵野大学環境学部環境学科が、NPO法人等と協働で、未来の環境リーダーを育成する教育プログラム「ECO REPORT WAY 21」キックオフミーティングを開催

2009.06.15 武蔵野大学環境学部環境学科と企業・NPO法人による産学連携環境教育プロジェクト「ECO REPORT WAY 21」の推進を目的として、企業・個人・学生・市民・研究者・地域団体・学生団体の連携を軸として取り組む。

▲PR:環境 goo[左] 武蔵野大学 Web サイト TOP 画面(右赤枠内)



## プロジェクトの成果報告イベント ～環境学部授業例より～

毎週、各グループの活動を報告する環境学専攻の授業。フロアにはグループでの活動紹介のパネルが展示され、積極的に説明する学生の姿が印象的だ。活動内容は、マイ箸持参のイベント、食育、キャンドルナイト、まちおこし、農作物関連、スポーツごみ拾い、小学校と連携した環境教育、幼児教育、ザンビアの自立支援などと幅広い。

本文にあった産学協同プロジェクト「ECO REPORT WAY21」もグループワークの一つで、リーダーの久保川みりさんは「1年生のときは会議に出て何を話していいかわかりませんでした。自分なりに勉強し先輩にも教えられ、今では会議で意見を述べ、問題点を探ることで、解決への糸口が見えるようになりました」と話す。また、新キャンパスを環境実践のフィールドと捉えて活動するグループは「有明エコキャンパス化」。連携する「Yes My Bottle」は、持参した容器で自販機の飲料が買えるようにするグループで、有明と武蔵野のキャンパスでの実現を目指す。このアイデアを学長に提案し、自販機メーカーと飲料メーカーに交渉中だ。メンバーの宮川鼎さんは「活動を通して、流通過程には無駄が多いと気付きました。今は調査中ですが、賛同し協力していただけるメーカーを探しています」。

自身の活動に誇りを持ち真剣に取り組んでいる学生たちは、プレゼンや議事録作成などのスキルを身に付け、NPOや自治体、企業との連携で視野を広げ、社会へ出て歩む力を育てている。



ステージが併設された構内で、各グループがパネルを展示している授業風景。企業の展示ブースにもつながるような学習環境で発表し合い、刺激を得ているようだ

環境学部 佐々木重邦教授。「これからの企業にはすべての部署で環境の視点が必要だと思います。発表や対話で経験を積んだ学生は成長が著しいので、企業のプロジェクトでも活躍できるでしょう」



産学協同プロジェクト「ECO REPORT WAY21」のリーダー、久保川みりさん(写真左)。「明るい会議を心掛けています」



「Yes My Bottle」のグループメンバー。マイボトル持参でキャンパスに通える日を思い描きながら、活動自体を楽しんでいるという、宮川鼎さん(写真左)



まいったもの、企業やNPO法人からの呼び掛けに参加したもののなどさまざまテーマで活動している。中でも産学協同プロジェクト「ECO REPORT WAY21」は、NPO法人と企業が未来の環境リーダー育成を目的に企画し、企業が発行するCSR・環境報告書を学生が設定した独自の指標を基に、武蔵野大学および他大学の学生が分析・評価するというもの。担当した環境学部の佐々木重邦

教授は、「学生の視点での指標について、企業の方の納得感が得られるかがポイントでした。ご協力をお願いした企業さまからは、学生の指摘が社内の課題点と一致しており参考になったとのご意見をいただきました。学生は自信につながり、企業は新鮮な視点を得られ、双方にメリットがあるとわかりました。特に学生は自身で考え計画し実行していくのでPDCAを回す力が高まり、学年を超えた交流で育て

る力も向上します。今後は多くの企業にご協力いただけるようアプローチしていきます」と語る。武蔵野大学の「キャリア開発プロジェクト」は、二キャンパス一体化の構想で新たな広がりを見せる一方、各授業ではテーマをより深く掘り下げていく。それらは確実に「考え抜き、前に踏み出し、チームで行動する力(社会人基礎力)」を含めた学生の能力を引き出し、さらに発展しようとしている。



### 月刊総務とは

総務部門向けに全国販売される唯一の専門誌

#### ●概要

- 創刊…昭和38年6月
- 定価…960円(税込、送料別)
- 発売日…毎月8日
- 発行部数…38,000部/版型B5版

- ・読者層は、購買決定権をもつ管理者層が中心
- ・各社スタッフ部門で定期購読され、回読率は平均4人以上
- ・会社の資料として保存され、必要に応じて活用される

